



2018年7月20日
東日本旅客鉄道株式会社
水戸支社

常磐線双葉駅橋上化及び自由通路新設工事の着手について

JR東日本水戸支社は、双葉町と施行協定を締結し、常磐線双葉駅橋上化及び自由通路の新設工事に着手することになりました。

設計コンセプトは「おもてなし・つなぎ・にぎわいを生む駅」としています。光を取り込む広い窓や、温かみを感じる色合いのルーバーにより、明るく安らぎのあるおもてなしの空間を表現します。また、自由通路の整備により、東西のまちをつなぎ、人をつなぐ、一体感を生む駅を形成します。

これからの双葉町のコミュニティの核となり、町の拠点となる駅を目指します。

1 施設の概要

【鉄道施設】約 370 m²

地上2階 コンコース、駅事務室

ホーム：階段1箇所

※エレベーター1基（13人乗り）

【都市施設】約 730 m²

自由通路 幅員 約4m 延長 約46m

東口駅前広場：階段1箇所、エレベーター1基（13人乗り）

西口駅前広場：階段1箇所、※エレベーター1基（13人乗り）

※【鉄道施設】のホームエレベーターと【都市施設】の西口駅前広場エレベーターは併用



【東口イメージパース】

2 今後の予定

工事着手 2018年8月6日

供用開始 2020年春頃

3 事業主

福島県双葉町

東日本旅客鉄道株式会社 水戸支社

4 施工会社

東鉄工業株式会社



【内観イメージパース】